

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 26 No 12

304号

平成30年12月17日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

忙しさはタレント並み!?

院長

前に誰かが言ってました、「先生はまるでタレント並みの忙しさだ」と。先月号でも仙台・鹿児島往復の強行軍と3日間で、2回のパネリストを紹介しました。それだけでも、タレント並みの忙しさと言ってもいいでしょう。でも何か足りないと思ったら、テレビ出演がタレントの条件であることに気がきました。ということで、積極的にテレビ局に営業活動をしてみました。というものの私を取り上げてくださいますと言っても取り上げられるものではありません。かえって自分からの売り込みは避けられるものです。3年前日本外来小児科学会年次集会会長の時、自薦の講演は全て却下したことを思い出しました。

11月6日を皮切りに、取材が相次いだことを知っている人も多いと思います。実はこのエピソードの裏には、13日の仙台市医師会と在仙メディアとの懇談会が関係しているのです。取材の始まりは6日ミヤギテレビと7日東日本放送の「りんご病」から始まりました。ミヤギテレビは直接依頼の電話が入り、東日本放送は医師会から振られたものでした。取材慣れと言うか性格なのかは不明ですが、「いいコメントを引き出すのが記者さんの腕」とプレッシャーをかけ、全てテイクワンで終了しました。2つの取材であれば、例年通りで取り立てて騒ぐものではありません。ところが偶然というか、運命の糸というべきなのか、在仙メディアとの懇談会でミヤギテレビと東日本放送が両隣だったのです。当然のことながら取材の話で盛り上がり、ついでに風疹のことも話題にあげました。関東地域で風疹が流行し、2012-13年に続く大流行であること。先天性風疹症候群が前回大流行時に45人が罹患して11人が亡くなったこと。流行していない宮城県だからこそ、啓発することがマスコミの使命だと伝えました。後日より風疹の理解を深めてもらうためにCLINIC NEWS 10月号「また迫り来る風疹の脅威」を送ったことは言うまでもありません。懇談会で挨拶を交わした東北放送からの21日に取材を受け「りんご病」が放送されたのも知っての通りです。さらに20日には某ワクチンメーカー「乳児におけるワクチンの同時接種の実際(仮)」取材がありました。これは医師に対する情報提供を目的に作成される動画で、近日中にメーカーサイトに公開されます。ただでさえインフルエンザ予防接種で大混雑の時間帯に



撮影スタッフ8人も押しかけられました。皆さんの協力により素晴らしい取材ができたので、少しばかりのお礼と撮影された映像を差し上げる予定です。



ここまで2週間でカメラによる取材が4件、放送は3件と、少しはタレントに近づいたようです。そうこうしているうちに、東日本放送とミヤギテレビから「風疹」を取り上げたいとの連絡があり、11月29日東日本放送、12月12日ミヤギテレビで「風疹」が放送され、取材6件、放送が5件となりました。

でもタレントであれば、空いた時間の講演会も仕事の一つです。11月14日には仙台市薬剤師会「抗菌薬適正使用を考えるー感染症の予防と対策ー」を講演。感染症のほとんどはウイルス感染であり抗菌薬は不要であること。ワクチンで予防できる病気と予防接種の重要性。さらには先天性風疹症候群を防ぐためには成人が積極的に予防接種を受けることが必要であることを伝えました。12月6日には平日休診して東京まで出向き、NPO きずなメール・プロジェクト公開勉強会で「セーフティネットは“糸のつながり”ー小児科医による虐待予防ー」を講演。開業理念から生まれた子育て支援活動を紹介し悩みや不満の受け口(はけ口)になることの重要性。一人一人が何ができるかを考えて欲しいと結びました。13日には10年継続している小学4年生への「命の大切さ」を伝える性教育の授業と講話。「親子で学ぼう、いのちのつながり」は児童・保護者対象の「赤ちゃんはどこからくるの」。今年も孫たちの写真で始まり、子どもたちとの掛け合いの楽しい授業になりました。さらには保護者対象「いのちのつながり：悲しい出来事」。日齢4死亡新生児搬入事件と4か月児虐待死検証など深刻な講話でしたが、命のつながり、命の大切さ、さらには親子のコミュニケーションの重要性を伝えることができました。今年度からの文科省学校保健総合支援事業の1月の出前授業の小学校養護教諭も熱心に聴講していました。



このひと月半を振り返ると、日常の診療以外に、取材5回、講演4回、東京出張3回を含んだ計28回のイベントをこなしました。流石にタレント並みと言う表現ではなく、まさにタレントと言うほどの時間に追われる生活を余儀なくされました。テレビ取材・講演となれば、皆さんの興味は出演料・講演料がいくらになると気になることでしょう。当然のことながら取材の出演料は無料で、休診しての講演は、当然赤字に決まっている訳です。テーマを「忙しさはタレント並み」としたが、下の句は「でも収入は減るばかり」。やはり医者にはタレントにはなれないようです。

休診しても活動する目的は、全て子どもたちやお母さんたちのためなのです。活動を支えてくれるのは、皆さんの理解と協力のおかげです。年の終わりに改めて、クリニックを支えてくれる皆さんに感謝します。この一年、ありがとうございました。

・年末年始休暇のお知らせ
12月29日(土)午後~1月3日(木)

が休診になります。

皆さんには大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

・栄養育児相談

5、26日(水) 13:30~
栄養士担当。無料



『子ども・子育て支援の都市仙台！ ネウボラを仙台に！！』

読者の広場

先月は6通のメールをもらいました。他にもFaceBook(メッセージ)にもメッセージが寄せられています。



まずは太白区の細谷さんからのメールです。「かわむら先生 こんにちは。細谷〇の母です。先日はありがとうございました。それから写真も送って頂きありがとうございました。〇は渡す時、久しぶりなのと恥ずかしいのと緊張していたようです。〇はあれから、すぐに良くなりました。もう5年生にもなり、病院に行く機会も減り、ちょっとやさつとのことでは近所の病院でいいかなと思ったりもしますが(それでも行く機会はないのですが)、自宅からかわむら先生のところまでは、朝の通勤ラッシュの時間帯だと40分以上かかってしまいますが、それでもやっぱり症状に対する細かな説明がほしくて、安心したくて、時間がかかっても行ってしまいます。変わらない看護師さんのお顔を見ただけでもホッとするのも行く理由の一つです。

弟の〇も、小さい時は点滴したり吸入したりと毎年お世話になりましたが、小学生になって体も丈夫になり、こちらも病院へ行く機会が減りました。これから寒い冬になり、益々忙しくなるかと思いますが、先生をはじめ看護師の皆様もお体ご自愛ください。」

〇ちゃんがわざわざハロウィンのお菓子を持ってきてくれたので一緒に写真を撮り送りました。遠いところから通ってくる上、わざわざお菓子を届けたいと思う気持ち、とても嬉しいことです。

続いてはこれまた遠い大和町(やまとまちではありません)から来る吉田さんからです。「いつもお世話になっております。2ヶ月に1回くらい先生にお世話になってたのに、最近ご無沙汰してます(笑)。昨日のメールを見て、夜のニュースバッチリ拝見しました!私の職場(保育園)でも、子どもたちリンゴ病出てます(^_^; 我が家もいろいろ気をつけなきゃだなあと感じます!お聞きしたかったのですが、今年もクリスマス会ありますか?あれば日にちを教えてください☆よろしくお祈りします m(_)_m)。返信に続きまた「返信ありがとうございます m(_)_m 先生のテレビ、ステキでしたよ~(^-^)/ 彩花も「かわむら先生~!」って見てました!クリスマス会、電話させていただきます。」

子どもたちは知り合いの人がテレビに出るのを見ると、かなり嬉しいようです。YouTubeの先生に見入っている子もいると聞きました。クリスマス会では、もっと「かわむら先生~」と叫ぶかも??

心配事の返信へのお礼は泉区の橋野さんから。「川村先生。ご多忙にも関わらず、本日は返信までいただき、ありがとうございます。昨日、口頭でお返事いただけただけでも充分でしたのに…感激です!!不寝は心が弱ってきた時にびり返すので、川村先生からの返信は全て、メールが消えないように鍵をつけているんですよ!まさに、お守りです。話は変わりますが、オープン病院の落成式をニュースで見ておりました。川村先生が映っているのでは?と、探してしまいました(笑)いつも、ありがとうございます明日から福島県郡山市で東北大会があり優樹を泊まりで出さなくてはなりません。昨日は頭が痛い、との事で急遽練習参加を取りやめ、先生の所へ行った次第です。今週末は、特に寒いようなので、体調の悪い状態で預ける事が不寝で、昨日は浮かぬ表情でおりました。これからも、末長くよろしくお祈りいたします。」

返信メールに鍵をかけて保管してお守りにしている、なんて嬉しいことでしょう。これこそ「お母さんの不安・心配の解消」です。

先月に続き宮城野区の菅井さんからのSOSです。「かわむら先生こんばんは。昨日は、親子3人診ていただきありがとうございました。しのんの素朴な疑問も解決したようです。せんせい、私が瀕死です、ギブです。喉が痛くて、飲み込めず…頭は、割れそうなくらい痛く…鼻水もとめどなく出てきて、身体中が痛くてガクガクして歩けません。いただいたお薬は、飲んでます。このまま様子みて大丈夫ですかね?よろしくお祈りいたします。」

SOSへの返信は、「あまり酷いようなら明日急患センターかオープン病院で診てもらって!!お大事に」と。翌日の返信は「かわむら先生、昨日はお忙しいところ、お返事くださりありがとうございました。先生を近くに感じて安心。38℃の熱と大量の汗で、ポカリ2リットルは飲みました。昨日ほどの瀕死ではなくなったので、様子みます。いつも、ありがとうございます」。まさに当院の理念としての「お母さんの不安・心配の解消」というより「患者さんの不安・心配の解消」でした。



お母さんクラブ」クリスマス会

12月20日(木) 14:30 福沢市民センター

クリニック・薬局の出し物。ゆうき君のお母さんのワンマンショー。そしてサンタさんとトナカイ君からのプレゼントもあります。そして今年には院長がエンターテイナーとしてデビューするかも?

たまには日常を忘れて、お母さんも子どもたちと一緒に童心に帰って楽しんでください。

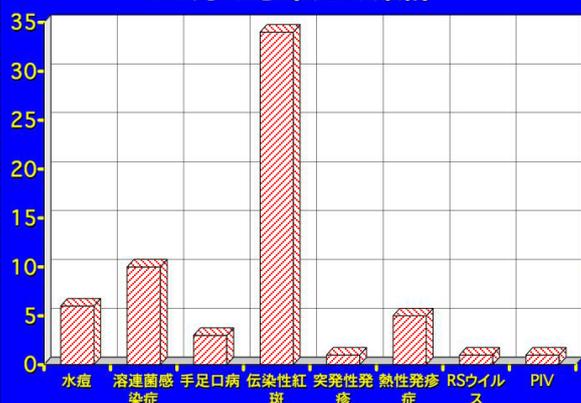
クリスマスイルミネーション

今年は昨年不具合があったため、例年よりゴージャスにしてみました。インスタ映えするでしょ!!

費用はかかりますが、皆さんへの感謝の印です。そして全ては、子どもたちの笑顔のためです。

寒いですが、是非足を運んでご覧ください。そしてSNSに上げてくださーいね♪(´θ´)ノ

11月の感染症の集計



気づかない人も含めると未だりんご病が大流行です。学童に水痘が多く見られ、溶連菌も流行しています。PIV パラインフルエンザです。インフルエンザは12月に入って少し見られていますが、流行はこれからでしょう。詳しいインフルエンザ情報はFacebookで提供!

Mail News, Facebook の紹介

Mail News は、600人を越えるお母さんが登録。右のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

最新情報はFBを見てください。

MailNews

Facebook

Mail News が届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



編集後記

毎月連続のお詫びです。今月号はついに遅れ発行のタイ記録を樹立してしまいました。新聞はクリニック「お母さんの不安・心配の解消」の理念をもとに発行しているので、遅れるのはしかたないもの(言い訳ですが)、止めるわけにはいきません。

今年は気温の変動が大きいので、体調管理には十分注意してください。それでは、良いお年をお迎えください。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。!!